

帰国報告会資料 (派遣生徒)

帰国報告会



平成30年度デンマーク友好都市中学生派遣交流事業

登別市立緑陽中学校3年の、鈴木春花です。

これから、私たち6人がデンマークで調べてきた、それぞれの「研修テーマ」について発表します。●

デンマークの建物について

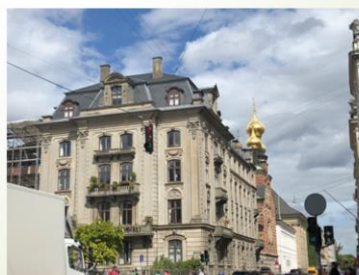


登別市立緑陽中学校3年 鈴木春花

わたしは、「デンマークの建物」について調べてきました。
日本と違うところをいろいろ発見したので、ご紹介します。



デンマークの建物について



これらは、デンマークの街並です。

1日目、コペンハーゲンに到着して、街へ出ると、日本とは全く異なるデザインの建物に目をうばわれました。自分の持つヨーロッパのステキなイメージそのものの、建物ばかりでした。レンガ造りの建物も多く、青空に映える様子は、まるで夢の中にいるようでした。



デンマークの建物について



初日から、日本と違う街並みに圧倒されつつも、斎藤先生の考えてくれたコースで、コペンハーゲン市内の見学をし、最後にチボリ公園へ行きました。チボリ公園の入口も、このように、レンガ造りのすてきな建物でした。



デンマークの建物について



ここは、「ニューハウン」という、デンマークの著名人アンデルセンが愛したと言われる港町です。実際に行ってみると、ご覧のように、となり同士くっついていて、平面的な建物ばかりでした。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの建物について



これは、「ラウンドタワー」という、17世紀半ばに、天体観測所として建てられた塔です。

この塔は、よくある階段ではなく、

●ゆるやかなスロープをグルグルと登っていきます。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)

●

これは、そのラウンドタワーのてっぺんからの眺めです。

ここに登るとコペンハーゲンの街並を一望することができました。

どの建物も、同じような形をしていたり、屋根が同じ色だったりして、その統一感に感動しました。

ラウンドタワーはとても高いので、遠くまで見渡すことができます。

●

デンマークの建物について



そして、これは、マリパーク・ニクス城のモデルとなったイーエスコー城です。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)

●
このように、敷地がとても広くて、遊具やお店などが、城へ行く途中にありました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)

●

デンマークの建物について



実際の城の中は、とてもきれいで、このように、動物の剥製などを、たくさん飾ってある部屋もありました。

ここが、本当に城として使われていたんだと実感しました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの建物について



デンマークの建物の外観は、色とりどりで、きれいなものばかりでした。レンガ造りの家も多く、とてもすてきな建物がたくさんありました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの建物について



これは研修テーマとは関係ありませんが、仲良くなったホスト達が、リンゲ駅で私たちを見送ってくれた時の写真で、とても気に入っています。みんなとの友情を、ずっと忘れずにいたいと思い、載せました。



「デンマークの建物」は、



レンガや石造りで、
屋根なども同じような色
で統一感があり、とても
きれいな街並みを作り出
していました。

また、ヨーロッパらしく、
長い歴史を感じられまし
た。

私が見て、感じた「デンマークの建物」は、レンガや石造りで、とてもヨーロッパらしかったです。丈夫そうで、何百年も持ってきたと思われる建物から、長い歴史も感じました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)

これで、私の発表を終わります。
次は、やまね ひろと 君 の発表です。



デンマークのスポーツについて



登別市立緑陽中学校 1年 山根 大翔

登別市立緑陽中学校1年、山根大翔です。

僕は、「デンマークのスポーツ」をテーマにして、この目でいろいろ見てきました。



デンマークのスポーツについて



リングフリー校には、
目的別に、違う体育館が
ありました。



これは、リングフリー校にあったボールを使って遊べる体育館と、トランポリンのある体育館です。体育館に入る時に、靴を脱いでいる人と脱いでいない人がいて、その自由な感じに驚きました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて



僕は、選択授業の時に、この体育館でドッチボールのような球技をしました。
日本のドッチボールとは、ルールが違いました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて



これは、ノーアエア校の体育館の写真です。ここには、ブランコのようなものと、ろくぼくがありました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて



僕たちがホームステイをしたリングには、スポーツジムがありました。屋内にはバスケットボールなどができる体育館、屋外には土のテニスコートがありました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて

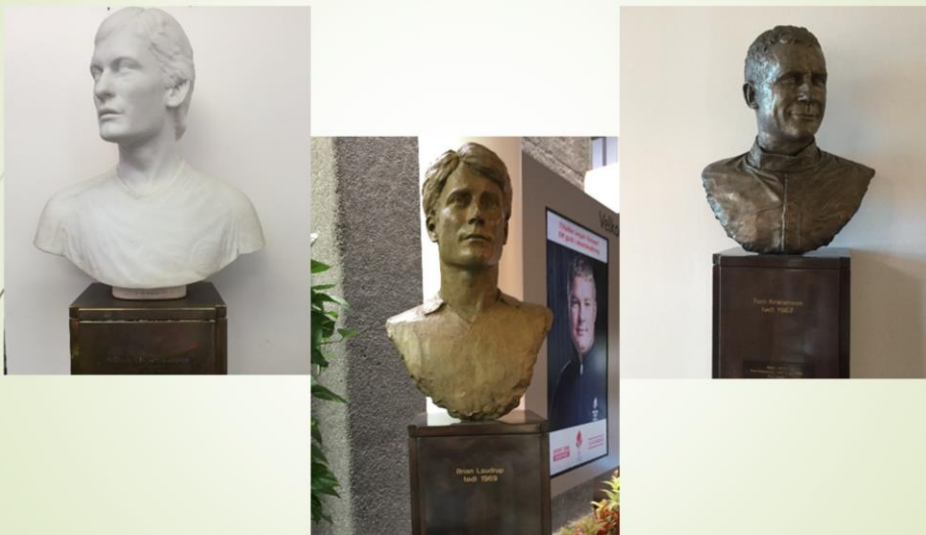


この写真は、コペンハーゲンで訪問したスポーツ施設です。デンマークのオリンピック委員会も入っているこの場所は、オリンピックに出場するような一流の選手達がトレーニングをするところです。宿泊施設もあり、まるでひとつの街のようでした。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて



建物の中には、歴代の有名選手の像がいたるところに置かれていました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて



ここには、いろいろな施設が集まっていて、これは、実際に試合が行われたバドミントンコートです。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて



ここは、一流選手しか使えないジムで、僕たちが訪問した時は、実際に、数名の選手たちがトレーニングをしていました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて



これは、球技トレーニング用の体育館です。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて



また、このように、卓球台がたくさん置かれた専用の体育館も見せてもらいました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて



これは、デンマーク代表の選手達が練習するサッカー場です。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークのスポーツについて



今、見ていただいたように、すごくたくさんの種類の施設が集まっていました。自分の身近に、このような場所は無いので、とても驚きました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



「デンマークのスポーツ」は、



とにかく

**「施設が充実
している」**

という印象でした。

僕が見てきた「デンマークのスポーツ」は、オリンピック施設はもちろんのこと、学校でも、そして家でも、とにかく施設がとても充実していた、ということです。

(～～ひと呼吸～～)

これで、僕の発表を終わります。
次は、いしやま あすか さんの発表です。



デンマークの音楽について



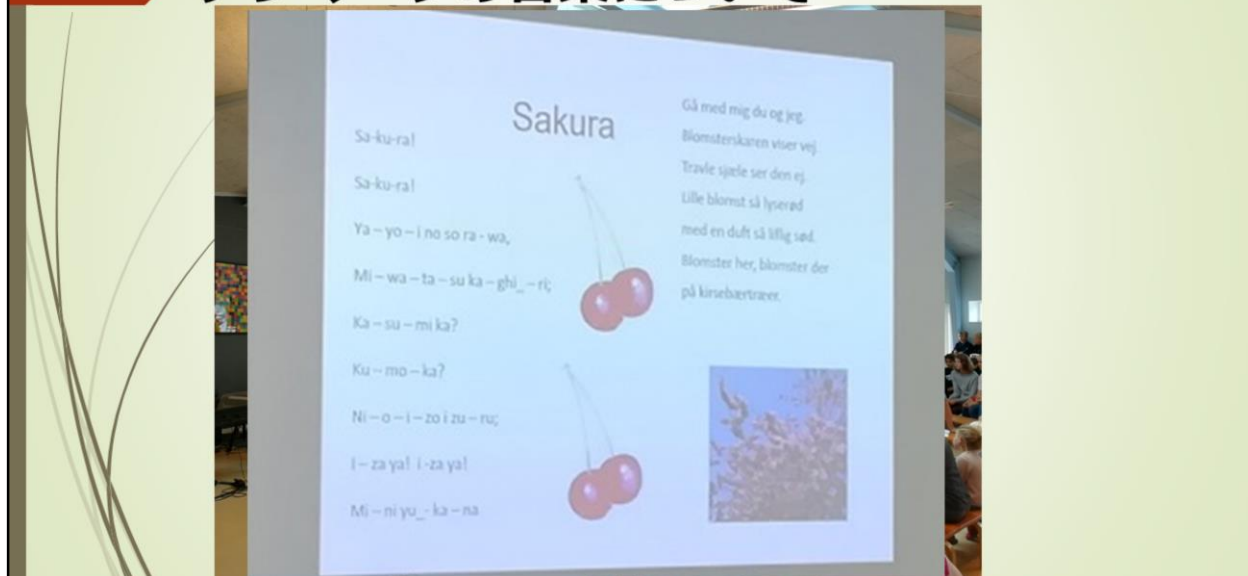
登別市立西陵中学校2年 石山 明寿香

登別市立西陵中学校2年、石山明寿香です。

わたしは、「デンマークの音楽」をテーマに、いろいろ調べてきました。



デンマークの音楽について



まず、学校での「朝の会」についてです。

日本の学校の「朝の会」は、各クラスで、あいさつや欠席者の確認をして、一日の目標を決めたり、連絡事項を聞いたりするのが普通だと思います。一方、リンゲフリー校の「朝の会」は、音楽ホールに全校生徒が集まって、行われていました。

この日は、最初に、3曲ほど歌を歌いました。

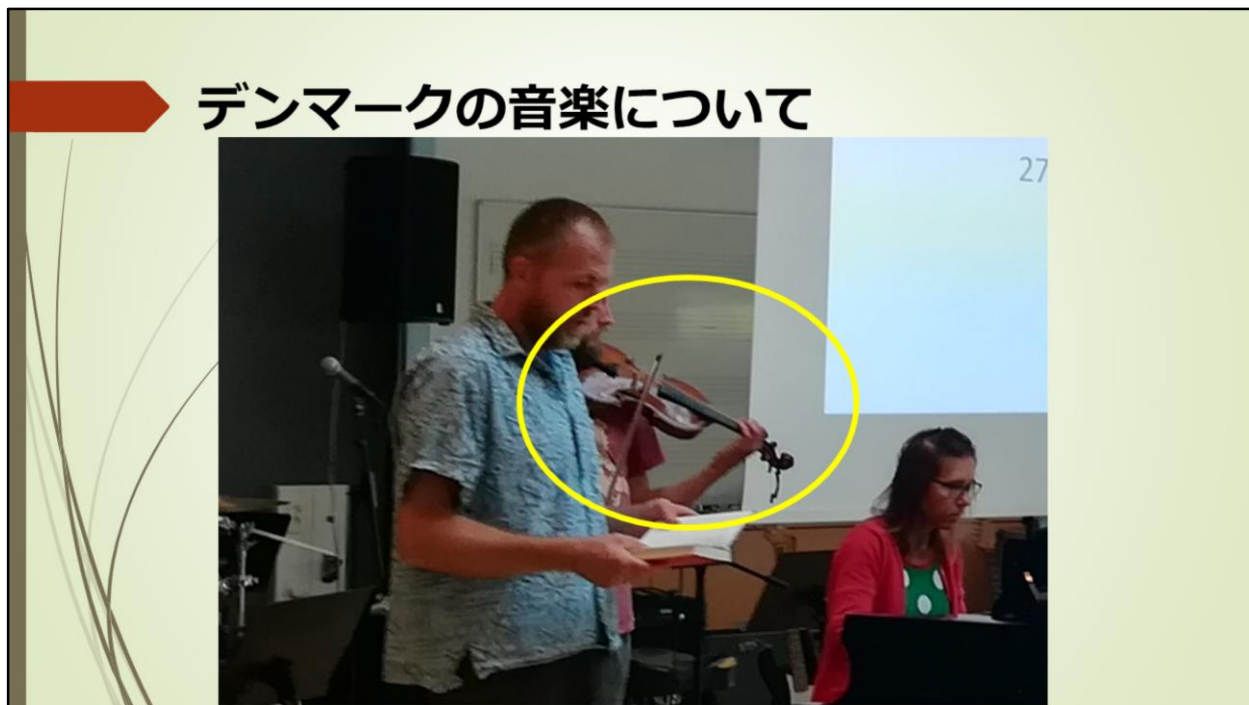


その中には「さくら、さくら」もありました。

日本語で歌ってくれて、とても嬉しかったです。



デンマークの音楽について



歌の伴奏は、日本ではピアノかCDですが



リンゲフリー校では、このように、ヴァイオリンを弾く先生もいました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの音楽について



音楽ホールは、きれいに装飾されていて、とても美しかったです。それを見て、私も楽しい気持ちになりました。また、生徒みんなが、大きな声で歌を歌っていたのが、とても印象的でした。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの音楽について



この写真は、リンゲフリー校の音楽ホールで、ピアノの練習をした時のひとコマです。

音楽ホールには、このグランドピアノの他にもドラムセットやギターなどいろいろな楽器がありました。

また、ホストファミリーの家にもピアノがありました。私がピアノを弾くと、家族みんなが喜んでくれて、とても幸せな時間を過ごしました。



デンマークの音楽について



ホームステイ最後の夜のお別れパーティで、私はピアノを、春花さんはフルートを演奏しました。

左の写真がわたし、右の写真が春花さんです。ホストのみんなは、真剣に聞き入ってくれていました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)

ピアノを弾いた時の様子を動画で少しだけご覧ください。



デンマークの音楽について



こんな感じでした。

日本で演奏すると、みんな「すごいね」とほめてくれますが、それは基本的に指の動きなどについてです。しかし、デンマークの人たちは、「芸術的で感動した。」などとほめてくれました。

喜び方も、ただの拍手ではなく、とても大きな拍手を、笑顔でしてくれるので、嬉しかったです。

私の音楽を理解してくれるひとが、この国にはたくさんいると感じて、デンマークが大好きになりました。



デンマークの音楽について



次に、デンマークの人たちに人気のあるミュージシャンを紹介します。

それは、「ルーカス・グラハム」というグループです。代表作に「7 Years」という曲があります。歌詞にとっても重みがあって、良い歌だと思いました。この曲は、アメリカのビルボード誌の、シングルチャートで2位になり、また、グラミー賞にもノミネートされたほど、人気があります。



デンマークの音楽について



カール・ニールセン

1865年デンマークの
ノーレ・リュンデルセ生まれ



今は、リングと同様、合併して
ファボー・ミッドフュン市の
一部になっています。

また、私たちがホームステイをしたファボー・ミッドフュン出身の有名なクラシックの作曲家がいます。それは「カール・ニールセン」という人です。

ノーレ・リュンデルセ生まれと書いてありますが

● この町は、今のリング同様、合併をしてファボー・ミッドフュン市に含まれています。リングの人たちは、自分たちと同じ町出身の彼をととても誇りに思っているそうです。



「デンマークの音楽」は、



日本よりも身近にある印象でした。

学校においてある楽器の種類も豊富で、気軽に触れることができました。

私にとって、「デンマークの音楽」は、日本よりもずっと身近な印象でした。街中に楽器があったり、音楽ホールには楽器がたくさんあって、気軽に触れることができました。

私のピアノに対しても、とても理解を示してくれるデンマークの人たちが私は大好きになりました。
またいつか、デンマークでピアノを弾きたいです。

(～～ひと呼吸～～)

これで、私の発表を終わります。
次は、わだ あきら くん の発表です。



デンマークの子供の遊び



北海道登別明日中等教育学校 1 回生 和田 笙

北海道登別明日中等教育学校1回生、和田笙です。

僕は「デンマークの子供の遊び」について、調べてきました。



デンマークの子供の遊び



デンマークの家にはゲームがたくさんありました。ホストの家には「マリオ」がありました。今は「フォートナイト」というゲームがはやっているようで、ホストも持っていました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの子供の遊び



最近はやっている遊びで、「ディアボロ」というのがありました。
これは、ジャグリングの一種で、



右の図のような、おわんを2個くっつけたような形のコマを、2本の棒につないだ糸でくるくる回す遊びです。

僕も挑戦してみましたが、なかなか難しかったです。7年生の子は、上手に回していました。



デンマークの子供の遊び



リングでは、森の幼稚園というところも訪問しました。そこでは小さな子どもたちが、自然の中でいろいろなことをして遊んでいました。僕たちも仲間に入って遊びました。言葉は通じないけれど、みんな一緒に楽しく遊ぶことができました。



団長も、小さい子たちに取り囲まれ、おもちゃの剣で切られていました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの子供の遊び



そして、デンマークでは、家にも学校にもトランポリンがありました。これは、リングエフリー校にある体操用の体育館の様子です。

小さいトランポリンではなく、本格的な大きいトランポリンが床に作られていて、ビックリしました。



ホストの生徒たちはみんな慣れていて、こんなふうには、ピョンピョン飛び跳ねていました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの子供の遊び



これは、他の子の家にあったトランポリンの写真ですが、僕も自分のホストの家の庭にあったトランポリンで遊ばせてもらったら、すごく跳ねて、面白かったです。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの子供の遊び



また、学校の中にはビリヤードや卓球の台がありました。休み時間にみんなで遊んでいました。



その他にも、日本の学校には無い遊具がたくさんありました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの子供の遊び



また、デンマークではサッカーがとても人気です。学校には大きなサッカー場がありました。家の庭にもサッカー場がありました。ボールがあれば、どこでも出来るのが人気の理由だそうです。



「デンマークの子供の遊び」は、



みんなをつなげてくれる

「言葉のかわり」

だと思いました。

「デンマークの子供の遊び」は、とにかく楽しむ、というところは日本と全く同じでした。

ゲームで対戦したり、みんなで1つのボールを追いかけてたりして、とてもにぎやかで楽しかったです。

「遊び」は、みんなをつなげてくれる、「言葉のかわり」だと思いました。

言葉は通じなくても、みんな一緒に遊ぶことで、仲良くなれるということを実感できました。

(～～ひと呼吸～～)

これで、僕の発表を終わります。

次は、むらもと ゆうき くん の発表です。



日本とデンマークの交通機関の違い



登別市立幌別中学校 1年 村元 優希

登別市立幌別中学校1年、村元優希です。

僕は、「日本とデンマークの交通機関の違い」について、いろいろ見てきました。



日本とデンマークの交通機関の違い



まず1つ目は、デンマークの電車やその関連施設です。
その中でも2つ紹介します。

まず、「デンマークの電車」についてです。
デンマークの電車の形は、左の写真のように日本と比べて丸い形をしています。
そして、どの電車にも上に電光掲示板があります。
さらに、右の写真にあるように、電車に自転車を乗せることができ、便利です。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



日本とデンマークの交通機関の違い

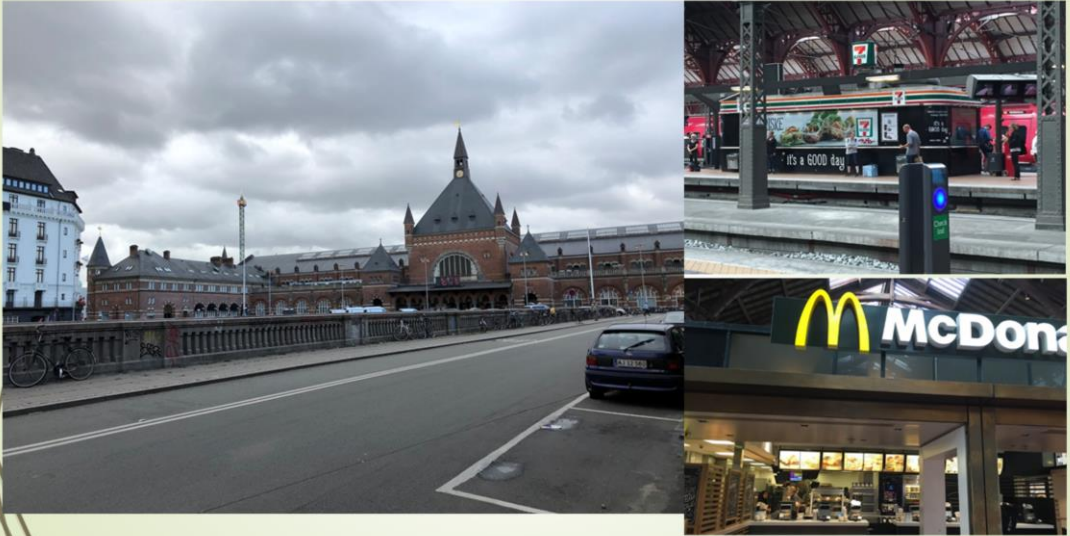


また、ほとんどの電車で、このように落書きがされています。
日本で、こういう落書きは犯罪にあたりますが、外国ではアートなのでしょうか。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



日本とデンマークの交通機関の違い



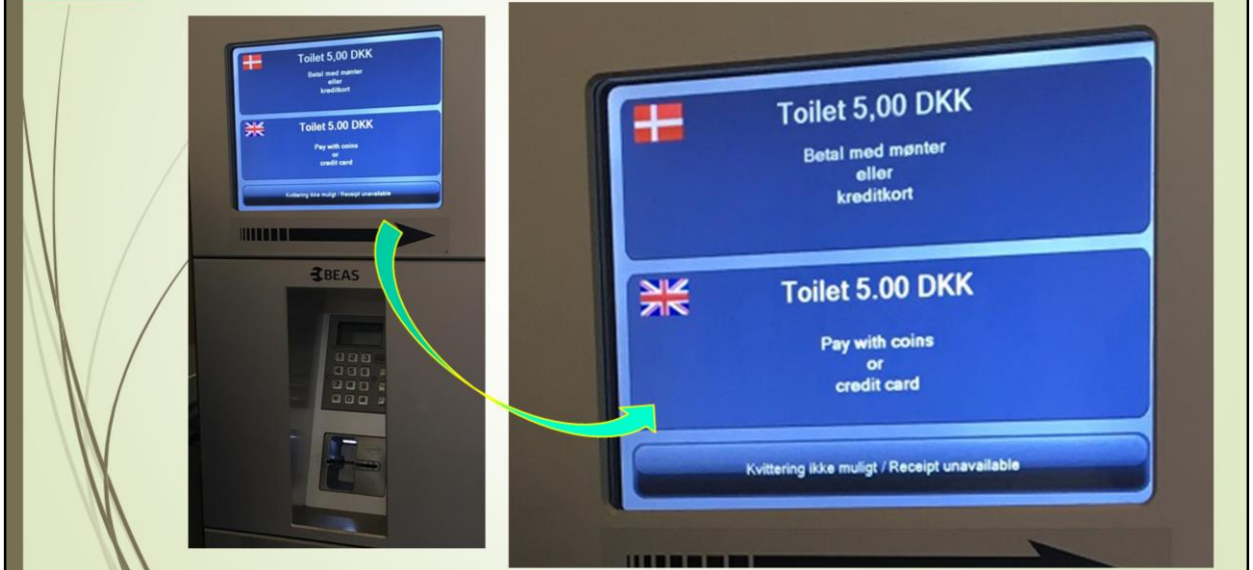
次に、「駅」についてです。

コペンハーゲン中央駅は広く、中には、おなじみのコンビニやハンバーガーショップなどもありました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



日本とデンマークの交通機関の違い



中央駅はトイレが有料で、男女関係無く1人5クローネ(約85円)を払って使います。

●
その他の駅では、あまり有料トイレは見かけませんでした。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)

●

日本とデンマークの交通機関の違い



次に、バスについてです。都市部のバスと地方のバスに分けて発表します。

まず、都市部のバスは登別のバスと変わりないように思いました。それに、登別に比べると、バスの本数も多いから、とても便利です。しかも、バス停には電光掲示板があり、次のバスがあと何分で来るかがわかります。

地方のバスは、本数は少ないですが、バスの大きさは、都会の小さ目のバスと似たような感じでした。



日本とデンマークの交通機関の違い



次に、自転車についてです。

都市部では、●

このように、自転車専用レーンが幅広く取られており、自転車は、日本に比べて、とても速く走っていました。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)

●

それに、変わった自転車もたくさん走っており、このような、子供を前に乗せる形のものも見かけました。

ところが、リングでは、自転車はほとんど走っておらず、僕がホームステイ中に見かけたのは、マウンテンバイク1台きりでした。

●

日本とデンマークの交通機関の違い



また、デンマークの青信号の時間は、とても短かったです。都市部では、青信号の時間は10～15秒程度で、デンマークの一番の課題はそこだと思いました。ゆっくり安心して渡りきるには、もう少し長いといいな、と思います。



「デンマークの交通機関」は、



日本と同じところも
違うところも、いろいろ
ありましたが、自転車に
とても優しい道路でした。

他の国の交通機関にも興
味がわきました。

僕が見てきた「デンマークの交通機関」は、日本と同じところも違うところも、いろいろありました。ただ、デンマークは自転車王国と言われるだけあって、自転車にとっても優しい道路だったと思います。日本でも自転車に乗る人が増えているようですが、今のままの道路では危ないことも多いです。デンマークのいいところをもっと取り入れたらいいのではないのでしょうか。

そして、僕はこの経験を通して、他の国の交通機関についてもいろいろ知りたいと思いました。

(～～ひと呼吸～～)

これで、僕の発表を終わります。
次は、ほんだ ゆみか さん の発表です。



デンマークの公共施設について



登別市立鷺別中学校2年 本田 優美香

登別市立鷺別中学校2年、本田優美香です。

わたしは、「デンマークの公共施設」をテーマに、あちこちの施設を見てきました。
日本では、あまり見ないものも、いろいろ見つけたので、紹介します。



デンマークの公共施設について



まず最初に、デンマークの市役所を紹介します。私たちが訪問したのは、ファボー・ミッドフュンの市役所です。

この市役所では、150人以上の人が働いています。市長は4年に1度、25人の議員さんたちの話し合いで決めるそうです。

建物は1970年代に建てられ、2005年位から少しずつ増築して、このようなきれいな外観となっています。



デンマークの公共施設について



市役所では、学校のサポートなどもしているそうです。
また、オリジナルのアートや音楽を作って披露しているところが、日本と違うと実感した点です。



デンマークの公共施設について



次にご紹介するのは、リンゲの図書館です。

ここを訪問して、一番驚いたのは、大きなおもちゃや衣装がたくさん置いてあったことと、壁や扉に描かれた絵でした。

日本の図書館に、おもちゃがこんなに堂々とおいてあるところは、あまり無いでしょうし、扉の絵も迫力があり、とても印象強く、心に残りました。

また、パソコンがたくさん置いてあるのを見て、私の家の近所の図書館にも、増やしてくれたらいいなと思いました。



デンマークの公共施設について



最後は、デンマークの施設で見たトイレをいろいろご紹介します。

まずは、空港のトイレです。この写真をご覧ください。

日本と違うところは、2つあります。

1つは、トイレ紙が、修正テープのような造りになっていて、ケースのギザギザでちぎって使います。

もう1つは、

日本では、それぞれの個室にゴミ箱が置かれていますが、

●

デンマークでは、このように袋が下がっていたことです。

(少し間をおいて)

●

デンマークの公共施設について



次は、ショッピングセンターのトイレです。

日本と違うところは、トイレットペーパーのホルダーと、流すボタンです。

ペーパーホルダーは中に大きなトイレットペーパーが入っていて、中央から出ている紙を引っばってちぎる方式でした。

流す方法は、日本ではレバーやセンサーが多いのに比べ、デンマークでは、水のタンクの上や、壁に付いていることが多かったです。



デンマークの公共施設について



これは、市役所のトイレです。

トイレトーパーは、日本と同じような形ですが、流すボタンがタンクの上に付いています。



(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの公共施設について



また、リンゲフリー校や森の幼稚園、ホストと行った海にあったトイレでは、



このように、予備のペーパーがたくさんストックされたケースがありました。

トイレペーパーのホルダーは、日本と同じような形ですが、流すボタンが、こちらにもタンクの上に付いています。



(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの公共施設について



これは、コペンハーゲンで行った、オリンピック関連施設のトイレです。水のタンクがなくて、流すボタンが壁に付いていました。



こういう違いも、初めは、ちょっと戸惑うのではないのでしょうか。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



デンマークの公共施設について



これは、リンゲフリー校にあったおもちゃの家のトイレです。



おもちゃでも、やっぱり、流すレバーが日本とは少し違います。

(少し、間をおいて...みなさんに見てもらってから)



「デンマークの公共施設」は、



日本よりデザインが凝っているところが良かったです。

でも、不便なところもありました。

良いところを取り入れて活かしていけたらいいと思います。

以上のように、日本とデンマークの公共施設の違いは、実際に生活してみると、いろいろ見つけられました。私が見てきた公共施設は、日本よりデザインが凝っているものが多く、うらやましいなと思うところもたくさんありました。でも、トイレでは、ペーパーが遠かったり、ちぎりにくかったり、良いことばかりでは、ありませんでした。

デンマークのアイデアなど、良い部分をうまく取り入れて活かしていけたらいいと思いました。

(～～ひと呼吸～～)

これで、私の発表を終わります。



ご清聴ありがとうございました！



そして、私たち、派遣生徒6人の発表を、これで、すべて終わります。

ご清聴ありがとうございました。